

金沢工業大学

INFORMATION

オープンキャンパス

7/16・17
SAT SUN

10/23
SUN

オンライン説明会

8/21
SUN

大学公式サイトの入試案内ページでは、入試に関する最新情報やオープンキャンパス情報、進学説明会のご案内を掲載しています。



金沢工業大学では建学の理念に基づき、「自ら考え行動する技術者」の育成を教育の目標として掲げている。そのため入学者選抜では、高校までに身につけた基礎学力を評価しながら、入学後の学習意欲や目的意識を高く持つ受験生を受け入れるための選抜方式を展開している。

「目的志向型入学（AO入学）」では

「主体性」の評価を重視する

金沢工業大学の「目的志向型入学（AO入学）」は、将来の夢や目標を持った目的志向型の学生のための選抜方式だ。選考は「2段階方式」で行う。

一次選考では出願書類のなかで「エントリーシート」を課し、「高校までに熱中して取り組んだ経験」「どのような目的を持って金沢工業大学の志望学科にエントリーしたのか」「大学を卒業後、具体的にどのような分野で活躍したいと思っているか」といった要素の記述を課し、受験生の過去・現在・未来の目的意識を評価する。その後、二次選考では「面談」で総合的に選考を行う。2段階方式とすることで、より出願書類の内容について時間をかけて精査し、「主体性」を中心に学力の3要素を総合的に評価する方針だ。なお、面談についてはオンラインで実施し、自宅等からの受験とする。

「推薦試験B」の出願要件に

「大学入学共通テストの受験」を求める

学校推薦型選抜では、「専門高校特別選抜（指定校制・公募制）」「推薦試験A（指定校制・公募制）」「推薦試験B（公募制）」を実施する。推薦試験A（公募制）は、「理解力評価テスト」（100点満点）、「面接」（100点満点）、「数学、理科、外国語、国語、全体の学習成績の状況を点数化」（100点満点）および調査書、学校長推薦書、志望理由書などにより総合的に評

価し可否判定を行う。

推薦試験B（公募制）についても推薦試験A（公募制）と同様の方法で選考を行うが、出願要件として「大学入学共通テストの受験」を課している。共通テストの得点は選考には使用しないが、12月の合格発表後も大学入学までしっかり学習を継続してほしいという思いから、出願要件として大学が指定する数学、英語、理科、国語等の教科・科目から3科目以上の受験を求めている。面接については試験会場の試験室からオンラインで実施する。

「大学入学共通テスト利用」の

受験教科の選択の幅を拡充

一般選抜では、「一般試験A」「一般試験B」「大学入学共通テスト利用」「一般試験B・共通テストプラス」を実施。

一般試験Aでは、これまでどおり「数学」「英語」を必修とし、選択科目として、「物理」「化学」「生物」「国語」のうち1科目の受験を課している。同学メインの試験であるため、多様な学習に取り組んできた受験生を受け入れる。

大学入学共通テスト利用では、選択科目の中に「地理歴史」「公民」の科目を増やした。

一般試験Bは記述方式の学力試験（「数学」「英語」に加え「物理」「化学」「国語」から1科目を選択）と調査書により総合的に選考する。

また、前年度同様、一般試験Aは全国26都道府県に、一般試験Bは全国14都府県に試験会場を設置し入学者選抜を実施する。



アドミッション オフィサー
北村 長次

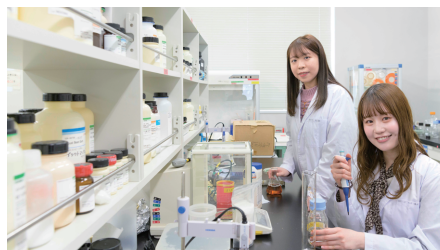
期待する受験生像

金沢工業大学は「自ら考え行動する技術者」の育成をめざしています。求めるのは、自らが持つ資質や多様な能力を向上させようとする意欲とともに、ものづくりに対する興味や科学技術への探求心を強く持っていること。本学には人工知能を学ぶ科目「AI基礎」や産学連携の教育研究など、未来社会の実現を見据えた環境が整っています。また、学習支援を行う「数理工教育研究センター」などの教育システムは、学生の研究意欲を最大限にサポートするでしょう。ここで学び、次の時代を牽引する技術者へと成長してくれることを期待しています。

金沢工業大学では「KIT オナーズプログラム」と呼ばれる活動が盛んで、約50のプロジェクトが活動している。



「私たちは私たちの未来を救うために」を理念に、SDGs (Sustainable Development Goals) 達成に取り組む学生プロジェクト「SDGs Global Youth Innovators」



応用バイオ学科の研究室体験プログラム。通常は4年次から始まる研究に1年次から取り組める



建築系のToiroプロジェクト。古民家の再生や企業のオフィスのリノベーションなどに取り組む



夢考房 Robocup@Home プロジェクト。自律移動型ロボット製作を行い、競技会に挑戦している

アロー総研のフカボリ①

入学後の目的意識を評価する目的志向型入学(AO入学)

学びたい学科がある、興味のある研究室がある、就きたい職業がある——。金沢工業大学独自の「目的志向型入学(AO入学)」は、そうした将来の目標や夢を持った受験生のための入学制度である。金沢工業大学で学びたいという熱意と意志が求められる。

「目的志向型入学(AO入学)」では、学力は一切問いません。金沢工業大学のカリキュラムをしっかりと理解し、将来のビジョンと重ね合わせることができている受験生を求めています。選考は、書類審査、エントリーシートをもとにした面談を行い、総合的に評価。金沢工業大学に入学したい理由や入学後にしたいこと、将来の目標などについて自分の言葉で表現することがとても大切です。2021年度入学選抜からは、2段階方式の審査でエントリーシートにより多くの時間を割き、『主体性』を重視した選考を行っています。金沢工業大学での学びを理解するため、大学のWebサイトで様々な情報に触れてみてください」(北村アドミッションオフィサー)

アロー総研のフカボリ③

特別奨学生制度で自らの総合力を高める

特別奨学生制度(リーダーシップアワード)は、金沢工業大学の教育目標である「自ら考え行動する技術者」に向けて、「授業等の正課」と「KITオナーズプログラム等の課外活動」の両面で優れた成果を修め、リーダーとなる人材の育成をめざす制度である。特別奨学生には国立大学標準額との差額が給付される「スカラーシップフェロー」と、年額25万円が給付される「スカラーシップメンバー」の2種類が用意されている。

最長で4年間継続して給付を受けることが可能。1年次後学期から参加することが求められている「KITオナーズプログラム」では、「夢考房プロジェクトプログラム」や「学科プログラム」といった自己目標達成プログラムから1つ以上を必ず選択し、活動を行う。2023

アロー総研のフカボリ②

実質的な高大接続を見据えた「入学教育」を実施

金沢工業大学では2022年度入学から、「入学教育」という名称で、志願者・合格者向けの新たなプログラムをスタートさせている。すべての入試区分の合格者が対象で、入学後に受講する授業へと直接つながる学びを事前に受けられるなど、より実質的な高大接続を見据えた教育となる。

「入学教育の具体的な内容としてはふたつ挙げられます。ひとつは、1年次で受講することになる基礎科目を高校生のうちから受けられるような仕組みを構築すること。これは、最終的に単位認定が可能になるところまでをめざして準備を進めています。もうひとつは、『KITステップアップ講座』の実施。先輩との座談会や、夢考房など学生が取り組むプロジェクトのプレゼンテーションを高校生に視聴してもらうことで、自身のキャリアデザインについて考えてもらうものです。大学の学びへとスムーズに入っていけるような入学教育を実践したいと思っています」(北村アドミッションオフィサー)

年度入学選抜における選抜方法については、大学公式Webサイトに随時発表される予定だ。なお、スカラーシップフェロー・メンバーは入学時だけでなく、各年次進級時にも、在学中の成績やKITオナーズプログラムへの参加実績などを評価して選抜を行う。

金沢工業大学(1年次)		国立大学標準額		年額 = 897,200円 を給付
入学金	200,000円	入学金	282,000円	
授業料(1年次)	1,515,000円	授業料	535,800円	
合計(1年次)	1,715,000円	合計	817,800円	
金沢工業大学(2年次以降)		国立大学標準額		年額 = 979,200円 を給付
授業料	1,515,000円	授業料	535,800円	

「スカラーシップフェロー」の奨学金給付額(2022年度)